



2021年2月19日

各 位

会 社 名 リ フ ァ イ ン バ ー ス 株 式 会 社  
住 所 東 京 都 中 央 区 日 本 橋 人 形 町 三 丁 目 10 番 1 号  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 越 智 晶  
(コード番号：6531)  
問 合 せ 先 取 締 役 青 木 卓  
TEL. 050-1748-5771

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○ 開催状況

開催日時	2021年2月19日（金） 15:00（動画公開日時）
開催方法	インターネットを利用した動画配信
開催場所	自社ホームページ <a href="https://www.r-inverse.com/">https://www.r-inverse.com/</a>
説明会資料名	2021年6月期第2四半期 決算説明会

【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料

以 上

**2021年6月期  
第2四半期決算説明会**

**リファインバース株式会社**  
(東証マザーズ：6531)



2021年2月

既存事業は新型コロナウイルスの影響から回復傾向にありコストコントロールの徹底を継続。  
新規事業は費用先行のため赤字拡大したが、3Q以降に利益貢献を見込める状況で今後を期待。

## ① 業績

- ✓ 産廃事業は前期水準まで回復し今後は前期水準を上回る受注が期待できる状況になってきているものの、コロナ影響は引き続き注視。
- ✓ CTR事業はコロナ影響もあり受注状況は弱含み。コストコントロールの徹底を継続。
- ✓ 新規事業はESGやSDG'sへの関心の高まりから事業機会が増加。現状は先行投資フェーズであるが今後は利益貢献を見込める状況に。

## ② 新規事業

- ✓ 高機能樹脂事業は一宮工場の生産高が増加してきており、またSDG's等への関心の高まりから再生ナイロン「リアミド」の引合いが増加。
- ✓ ソリューション事業は北海道の地場有力企業と提携。漁網リサイクルに関するライセンス供与、業務受託など3Q以降での収益を見込む。
- ✓ 設備販売も複数案件が進捗しており今後の収益源として期待が持てる状況に。

## ③ 課題

- ✓ 産廃事業はコロナ影響による受注増減に柔軟に対応できる体制整備。
- ✓ 高機能樹脂事業は漁網リサイクルに対する関心が非常に高く、一宮工場の生産性改善と増産体制の構築が課題。
- ✓ ソリューション事業で進捗している様々な案件の収益化と事業拡大のための人員強化が課題。

※日本財団が発起人となり、海洋プラスチックごみ対策を目的に設立されたアライアンス

コロナ影響により売上高・利益ともに前年実績を下回るものの、既存・新規事業ともに足元では好転してきている。前期比較ではソリューション事業の売上の影響があるが今期は3Q以降に収益計上の見通し。

	2020年6月期2Q		2021年6月期2Q				(単位：百万円) 増減コメント
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	増減額	
売上高	1,552	100.0%	1,187	100.0%	76.5%	△365.2	コロナ影響による受注減 前期ソリューション事業売上の影響
売上総利益	336	21.7%	248	20.9%	73.8%	△88.1	新規事業等でのコスト増加により 粗利益減少
販売管理費	372	24.0%	393	33.1%	105.6%	20.8	
営業利益	△35	△2.3%	△144	△12.1%	—	△109.0	
経常利益	△55	△3.6%	△158	△13.4%	—	△103.2	
四半期純利益	△56	△3.6%	△156	△13.2%	—	△100.2	

## セグメント情報

再生樹脂事業は新規事業が費用先行のため赤字拡大しているが3Q以降で収益改善の見通し。  
産廃処理事業はコロナ影響から回復してきており四半期ベースでは過去最高の受注件数となり足元も好調を継続。

	2020年6月期2Q		2021年6月期2Q				(単位：百万円) 増減コメント
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	増減額	
<b>再生樹脂事業</b>							
売上高	660	100.0%	402	100.0%	60.9%	△258	コロナ影響及びソリューション事業売上計上の影響
セグメント利益・損失(△)	△61	△9.4%	△161	△40.1%	—	△99	コストコントロールによるコスト削減するも、売上減少により利益減
<b>産廃処理事業</b>							
売上高	900	100.0%	791	100.0%	87.9%	△109	2Qは受注回復するが、1Qのマイナス影響で累計は前期より減少
セグメント利益・損失(△)	174	19.4%	107	13.6%	61.5%	△67	売上減少による利益減
<b>全社</b>							
全社費用	144		123		85.4%	△21	コストコントロールによるコスト削減

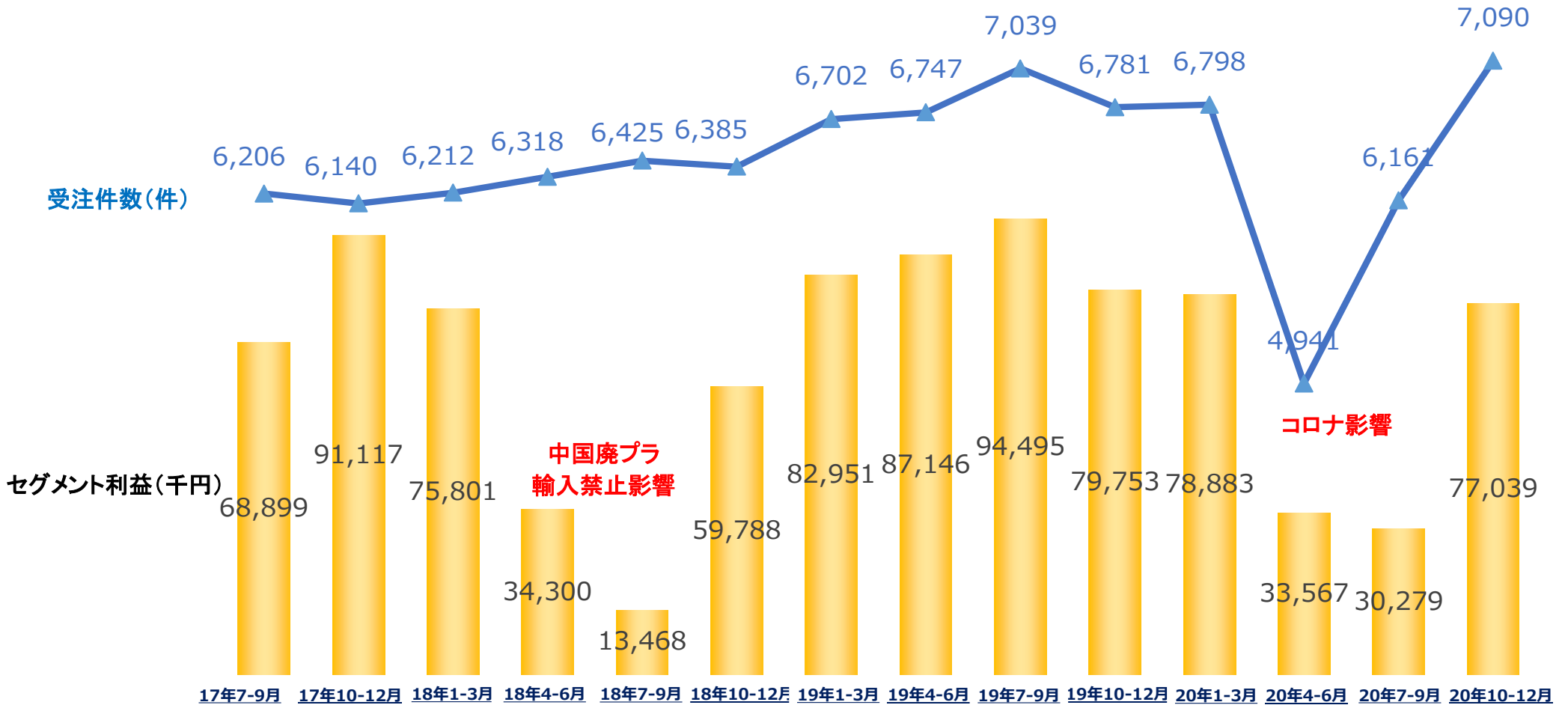
## 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2020年6月末	2020年12月末	増減額
流動資産	955	976	20
現金及び預金	460	365	△95
受取手形及び売掛金	277	344	67
その他	217	265	48
固定資産	1,876	1,830	△45
有形固定資産	1,626	1,585	△41
無形固定資産	14	23	8
投資その他の資産	234	222	△12
繰延資産	40	31	△9
開業費	40	31	△9
<b>資産合計</b>	<b>2,872</b>	<b>2,837</b>	<b>△34</b>
流動負債	694	700	6
支払手形及び買掛金	37	59	21
短期借入金	75	33	△41
1年内返済予定長期借入金	305	308	3
その他の流動負債	276	300	24
固定負債	1,840	1,758	△81
長期借入金	1,501	1,413	△88
その他の固定負債	339	345	△6
<b>負債合計</b>	<b>2,534</b>	<b>2,459</b>	<b>△75</b>
純資産	337	377	40
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,872</b>	<b>2,837</b>	<b>△34</b>

# 産廃処理事業の業績動向

コロナ影響による大幅な落ち込みからは回復してきており四半期ベースで過去最高の受注件数を記録。足元は引き続き良好な受注状況ではあるがコロナ影響による市場変化には慎重に対応する。

## 《産廃処理事業四半期推移》



## 2021年6月期業績予想

通期見通しに対して進捗は遅れているが3Q以降でのソリューション事業の収益等を見込んでおり、またコロナ影響などの不確実性もあり現段階では通期予想は据え置き。

(単位：百万円)	2020年6月期実績		2021年6月期予想				《ご参考情報》 2021年6月期 (第2四半期累計実績)	
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	増減額	金額	構成比
売上高	2,694	100.0%	2,989	100.0%	111.0%	295	1,187	100.0%
売上総利益	512	19.0%	813	27.2%	158.7%	301	250	21.1%
営業利益	△178	△6.6%	102	3.4%	—	280	△142	△12.0%
経常利益	△208	△7.7%	61	2.0%	—	269	△156	△13.2%
当期純利益	△268	△10.0%	20	0.7%	—	288	△155	△13.1%

## 再生樹脂製造販売事業

## 産業廃棄物処理事業

## 全般

## 前提条件

- ✓ カーペットタイルリサイクル事業においてはコロナの影響は続くものの収益は回復する見込み
- ✓ ソリューション事業は前期から検討中の設備案件の複数受注を見込む
- ✓ 高機能樹脂事業の生産高が増加し売上増を見込む

- ✓ コロナ影響は続くものの、すでに回復基調にあり受注増加
- ✓ 業務効率化によるコスト削減を達成できたことにより増収、増益を見込んでいる

- ✓ ナイロンリサイクルは海ゴミ問題への関心高まりにより引き合い増加、成長フェーズへ
- ✓ 廃プラ処理問題の課題解決に向けた新たな取組みを展開



## 会社概要

- 会社名 : リファインバース株式会社
- 資本金 : 149,625千円 (2020年12月31日現在)
- 設立 : 2003年12月
- 所在地 : 本社 東京都中央区日本橋人形町3-10-1  
千葉工場 千葉県八千代市大和田新田672-4  
リファインバースイノベーションセンター 千葉県富津市新富52-3  
一宮工場 愛知県一宮市起字与三ヶ巻37
- 取締役 : 越智晶 代表取締役社長 (リファインマテリアル(株)代表取締役社長)  
加志村竜彦 常務取締役 事業開発部長  
瀧澤陵 取締役 人事部長  
松村順也 取締役 ソリューション事業部長  
青木卓 取締役 産廃事業部長 ((株)ジーエムエス代表取締役社長)  
堀内賢一 取締役 最高技術責任者  
鮫島卓 社外取締役  
関口修一 社外取締役
- 従業員 : 141名(グループ全体)
- グループ企業 : 株式会社ジーエムエス、リファインマテリアル株式会社

## 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。